

伴学区 社協だより

発行 伴学区社会福祉協議会
電話 082-848-3277



新しい拠点の合同庁舎正面(11月11日・ふるさと祭り会場)

沼田合同庁舎が完成し、伴学区社協の拠点「沼田老人いこいの家」も生まれ変わります。伴学区社協は、この機会に組織・事業・財政全般を見直します。「みんなが安心して、穏やかに過ごせる、福祉の伴づくり」を学区内の各

団体と協力して取り組みます。子どもからお年寄りまで、社協の役割は幅広く、責任も重くなります。見直しは「住みよい伴づくりに、新たな時代の社協を目指して」を掲げ、



各団体に見直し内容を説明する伴会長
(10月27日・老人いこいの家)

超高齢社会への対応や新たなニーズが求められる半面、善意銀行の寄付金の減少▽老人いこいの家の指定管理がいつ取り消されるかわからないなどを見据

善意銀行の在り方は、使途の透明性を高め、住民の参加気運を盛り上げる。社協の新たな収入源とする改革案を提案しています。社協だよりも、町内会連合会広報紙を共同編集、多岐な情報発信と経費減を図ります。見直し案は、正式な「事業改革計画」に仕上げ、来年度からの活動に反映します。

みんなの力で住み良い福祉の伴づくり ～社協の活動をゼロから見直し～

えて「持続可能な組織に体質を改善する」を目標にしました。

骨子案は「財政基盤の強化」「事業の全面見直し」「組織の統廃合」「善

意銀行の改革」の四つ。各部署の事業や各種団体の助成金を原則二〇％削減とし、理解を求めました。二面に詳報。

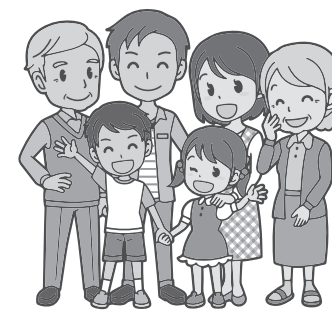
合同庁舎が1月4日開館 (2面掲載)
善意銀行の改革案を提示 (3面特集)

みんなが気をかけてくれて安心ね ～伴あんしんネット 全域に拡大～

伴学区でお年寄りを地域で見守る「伴あんしんネット」が、先行していた三城田、細坂地区から全域に拡大します。一人暮らしなどのお年寄りの登録を歓迎します。

見守りが必要と思われる一人暮らしや高齢世帯のお年寄りが対象。ふだんのあいさつや声掛けなど日常生活の中、近隣の絆で支え合う地域再生の願いも込めます。

伴社協、町内会連合会、民児協、戸山・伴・大塚地域包括支援センター(略称「包括」)の四団体が「伴あんしんネットの会」を結成。九月下旬に各団体の拡大会議で、全十四町内会エリアを四ブロックに分け、地域の実情を踏まえて取り組むことになりました。



みんなが気にかけてくれるから安心ね



ブロックに分かれ、意見を出し合う参加者
(9月19日・沼田公民館)

地域見守り活動の仕組みはこうです。見守りを希望するお年寄りを募る。同意・登録が原則。一人暮らしや要援護者など希望すれば、だれでも見守りの対象になれる。近隣の住民が協力員として声かけ・見守りをする。対象のお年寄り宅を通ったり、姿を見かけたりした折、「新聞や郵便物がたまっていないか」「変わった様子はなにか」などをチェック。月ごと包括に報告する。必要があれば包括職員が相談・支援をする。

二月と三月、それぞれ先行モデルとして始めた三城田で十一人、細坂で四人のお年寄りが登録されています。お年寄りから「親類でもないのにありがたい」、協力員から「近隣を気に掛けるようになった」などの声が聞かれています。

* 同地域包括支援センター内
伴あんしんネットの会
電話 (八四九) 五八六〇

ボランティアバンク「とも」 告知板

一人暮らしなどのお年寄りを対象に、日常生活でお困りの作業のお手伝いをします。また、お手伝いをいただける会員も募っています。元気なお年寄りは、地域の福祉の担い手です。

連絡先 沼田老人いこいの家
848-3277

こむねつとひろしま案内

パソコンやスマホから閲覧できます。「こむねつとひろしま」と入力してトップページから安佐南区、伴学区へ進み、町内会など各団体を選びます。伴社協は広報紙の社協だより、多岐な活動を載せています。

編集後記

伴社協の見直し作業の特集を組みました。社協だよりも来年度、町内会連合会の広報紙と共同編集を検討します。地域力を結集し、みなさんに身近な紙面づくりに努めたいと思います。